

令和元年 12月 19日
総務部

交通政策審議会第 29 回気象分科会の開催について

平成 30 年 8 月にとりまとめられた交通政策審議会気象分科会提言「2030 年の科学技術を見据えた気象業務のあり方について」の実施状況を中心にフォローアップを行い、より効果的な施策の推進を図るため、交通政策審議会気象分科会を開催します。

交通政策審議会気象分科会では、平成 30 年 8 月に「2030 年の科学技術を見据えた気象業務のあり方」(提言)を取りまとめました。この提言を受け、気象庁では、地域防災の取組を強化しているほか、観測・予測精度の向上のための技術開発や気象情報・データの利活用促進に関する取組を順次進めています。

気象分科会提言のフォローアップとして、提言後の気象庁の取組について総括を行うことで、より効果的な施策の推進を図るため、以下の通り、交通政策審議会第 29 回気象分科会を開催します。

なお、第 30 回気象分科会以降は、多様化する気象業務へのニーズを背景に、どのようなアプローチで官民が連携・協働し気象業務を推進していくべきかについて、審議いただくこととしています。

1. 開催日時等

日時：令和 2 年 1 月 10 日（金）10 時 00 分から

場所：気象庁大会議室（気象庁庁舎 5 階）

2. 議事

「2030 年の科学技術を見据えた気象業務のあり方について」のフォローアップ

問合せ先：

議事内容に関する問い合わせ先：総務部企画課 久保池、桑嶋

電話 03-3212-8341（内線 2236、2216）、FAX 03-3211-2032

傍聴ほか本件に関する問い合わせ先：総務部総務課 天羽

電話 03-3212-8341（内線 2114）、FAX 03-3201-0682

交通政策審議会 気象分科会委員（令和元年12月19日 時点）

家田 仁 政策研究大学院大学教授

小林 篤子 読売新聞東京本社論説委員

新野 宏 東京大学名誉教授

屋井 鉄雄 東京工業大学副学長 環境・社会理工学院教授

矢ヶ崎 紀子 東京女子大学現代教養学部教授